

横穴墓ってなに？

市宿横穴墓群を知る



道路側から望む横穴墓



横穴墓から望む小糸川周辺

市宿横穴墓群

市宿横穴墓群は、小糸川上流域左岸の標高260m程の急な丘陵の東斜面に位置し、平成7年に砂利採取に伴い発掘調査が実施されました。

14基が調査され、165体以上の人骨と、それに伴う刀や鉄鏃などの武器・勾玉・管玉・貝輪などの装飾品、土器、骨角器が出土しています。同時に全員が埋葬されたものではなく、6世紀後半から8世紀前半にかけて繰り返し埋葬が行われました。

発掘調査を実施した時に比べ、分析技術が発達した今、出土人骨に関する調査研究の進歩に期待できます。

平成28年度 君津市内出土遺物公開展

横穴墓ってなに？ ～市宿横穴墓群を知る～

アピタ君津店 8月9日(火)～8月14日(日)

君津市立中央図書館 8月16日(火)～8月28日(日)

平成28年8月5日 発行

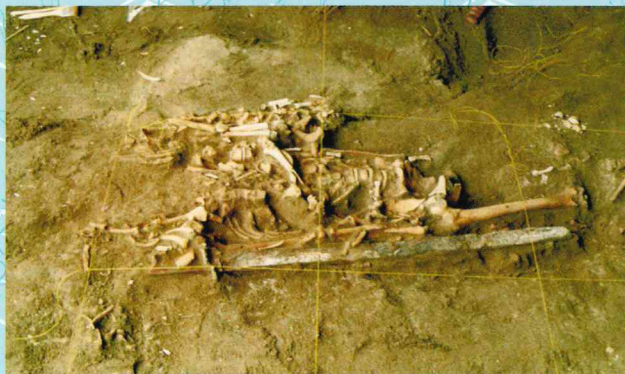
編集・発行 君津市教育委員会生涯学習文化課

横穴墓

横穴墓とは、丘陵や台地などの斜面に横穴を掘り、死者を埋葬した施設です。これら横穴墓は、主に6世紀から8世紀にかけて作られました。1基のみで存在することはほとんどなく、複数基のまとまりで群を構成します。横穴墓は1基に1人ではなく、何度も利用され複数の人が埋葬されていることが多いです。使われなくなった後、後世において再びお墓として利用されることもあります。



横穴墓から出土した人骨（2号墓）



人骨と並んで出土した直刀
（2号墓）



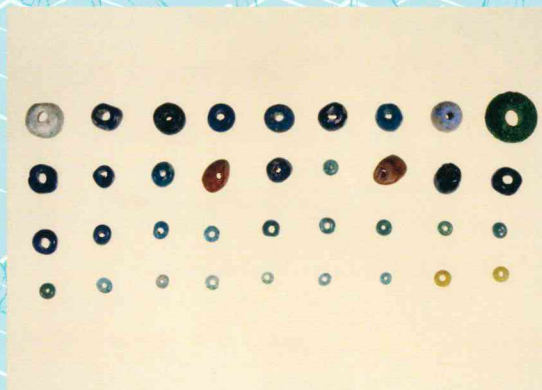
位置図

副装品

副装品とは、亡くなった人と共に埋葬した品々のことを言います。刀や鉄鏃などの武具、玉類や耳環などの装飾品が出土しています。



まがたま くだたま
勾玉・管玉・丸玉・耳環
（2号・8号・10号墓）



ビーズ玉
（2号・11号墓）